


基軸となる問いと獲得する概念に着目した「歴史総合(仮称)」の構成イメージ(たたき台)

平成28年3月4日  
 教育課程部会  
 社会・地理歴史・公民  
 ワーキンググループ  
 資料7

- 〈科目構成の考え方〉
- ・現代的な諸課題のおこりやその推移に関わる事柄について
  - ・近現代の歴史の大きな転換(「～化」)に関わる事柄を中心に
  - ・自国のこととグローバルなことが影響し合ったりつながったりする歴史の諸相に着目して
  - ・「基軸となる問い」やそれに基づく具体的な問いの設定と追究を通して
  - ・焦点となる問いやそれによって獲得される概念に留意して

諸資料を活用しながら、歴史を考察する手立てを用いて追究し、「歴史の学び方」を身に付ける。

		経済に関する 現代的な諸課題の背景	政治に関する 現代的な諸課題の背景	国際関係に関する 現代的な諸課題の背景	社会・文化に関する 現代的な諸課題の背景	.....	
歴 史 の 転 換 を 捉 え る 視 点	近代化	基軸となる 問いの例	欧米と日本の工業化の進展にはどのような違いがあるか。その違いは世界の情勢にどのような影響を及ぼしたか。	政治上の革命は、経済や社会のどのような変化と関係しているか？	欧米諸国や日本が海外に向かった理由は、以前とどのように違っていたか？	人々の権利をめぐる運動は、社会にどのような影響を与えたか？	
		獲得する 概念の例	産業革命 資本主義 社会主義	..... .....	.....	.....	
	大衆化	基軸となる 問いの例					
		獲得する 概念の例					
	グローバル化	基軸となる 問いの例					
		獲得する 概念の例					

- \* 学習課題によって、取り上げる時期や地域を広げて設定するなどの工夫が考えられる。
- \* 「近代化」「大衆化」「グローバル化」は、歴史の転換を捉える視点であって、時期の区分ではない。
- \* 歴史の転換への関わりの深さ  深い ← → 浅い